



平成29年10月13日（金） 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
岐阜大学 総合企画部総務課	広報室	伊藤、佐藤	直通 058-293-2009
産業人材課	産学金官連携係	森、森嶋	内線 3292 直通 058-272-8406 FAX 058-278-2676

## 岐阜大学工学部と県内企業が連携する授業がスタート！！ ～課題解決に挑む企業現場実習の出発式を行います～

県では、産業界、大学さらには金融機関と連携して、県内企業の高度技術者等の確保・育成及び定着を支援し、地域経済の活性化を図るため「産学金官連携人材育成・定着プロジェクト※」を推進しています。

昨年度に引き続き、県内企業の経営者・技術リーダーによる企業の魅力を伝える講義や企業の課題解決をテーマとする現場実習を、岐阜大学工学部の授業として実施します。授業を通じて、学生、教授に県内企業の魅力を知ってもらい、学生の県内企業への就職を促していきます。

このたび、10月19日（木）から工学部の学生が県内企業を訪れる「企業現場実習」を始めるにあたり、その出発式を下記のとおり行いますので、お知らせします。

### 記

#### 1. 日時

平成29年10月19日（木） 12:45～13:10

#### 2. 場所

岐阜大学柳戸会館前ロータリー（最終ページ「岐阜大学全体図」参照）

※雨天時は、柳戸会館集会ホールで実施します。

#### 3. 出発式の内容

**※出発式は、すべて取材可能です。**

##### (1) あいさつ

- ・岐阜大学代表者 学長 森脇 久隆（もりわき ひさたか）
- ・受入企業代表者 産学金官連携人材育成・定着プロジェクト推進協議会 副会長  
(株)秋田屋本店 代表取締役社長 中村 正（なかむら ただし）

・代表学生からのスピーチ 岐阜大学工学部機械工学科 3年生

##### (2) 記念品の贈呈（中村副会長から学生代表者に贈呈）

##### (3) バス出発（学生がバス（9台）に乗り、一斉に各企業に出発）

◎出発式終了後、岐阜大学工学部の3年生（140名）が各受入企業を訪問し、企業経営者や技術者の講話、企業見学を行います。）

#### 4. 参加予定者

- ・岐阜大学工学部機械工学科 3年生 140名
- ・岐阜大学工学部 担当教員、職員等 約20名
- ・産学金官連携人材育成・定着プロジェクト推進協議会事務局員 約10名

#### 5. 受入企業の授業取材

以下の受入企業においては、講話及び工場見学の様子を取材することが可能です。

- (株)ナベヤ (岐阜市若杉町25 本社工場)
  - ・講話 (14:10~14:40) ・工場見学 (14:50~16:30) ・参加学生 7名 (予定)
- (株)黒田製作所 (羽島郡岐南町伏屋9-138)
  - ・講話 (14:30~15:00) ・工場見学 (15:10~16:10) ・参加学生 7名 (予定)
- (株)秋田屋本店 (関市洞戸飛世106-1)
  - ・講話 (14:50~15:20) ・工場見学 (15:30~16:30) ・参加学生 4名 (予定)

**受入企業への取材を希望される場合は、前日までに、以下の担当までご連絡ください。**

<担当>産学金官連携人材育成・定着プロジェクト推進協議会事務局  
岐阜県 商工労働部 産業人材課 担当：森、森嶋、仙石  
連絡先 058-272-8406  
メール c11369@pref.gifu.lg.jp

#### 《参考：授業の概要》

##### ① 授業名称

岐阜大学工学部機械工学科 機械工学創造演習・知能機械工学演習 III

##### ② 対象学生

岐阜大学工学部機械工学科 3年生 140名

##### ③ 授業内容 (全15回 授業時間は、全て13時~17時)

<第1回、第2回>

10月5日(木)、12日(木) 授業のスケジュール、各演習テーマの説明等

<第3回>

**10月19日(木) 受入企業見学会及び企業経営者の講話(場所：各受入企業)**

<第4回~第13回>

11月~1月 実地演習(受入企業において演習課題に取り組みます)

※対象学生140名が実地演習を行います。

**※第6回(11月16日(木))の実地演習終了後、岐阜大学内(食堂)において、学生と受入企業との交流会を実施予定**

<第14回>

1月25日(木) 演習成果のまとめ、発表会の準備

<第15回>

2月2日(金) 成果発表会

##### ④ 受入企業及び演習課題

県内の17企業が、岐大工学部の学生を受け入れ、10月から1月にわたり、新たな商品開発や生産ラインの改善等に、学生が取り組みます。

《受入企業名・演習課題名》（順不同）

受入企業名	課題名（仮）
(株)秋田屋本店	2次殺菌機出口コンベアの改善
アサヒフォージ(株)	新技術開発～鍛造加熱材を効率的に“冷ます”～
(株)ナベヤ	ツーリングブロックの最適化
(株)黒田製作所	プラスチック射出成形金型の設計と製品試作
鳥羽工産(株)	ハイテン材の塑性加工
(株)水生活製作所	鋳造シミュレーションを用いた鋳物製品の不良率低減
(株)イマオコーポレーション	組立作業を改善する治具の検討
(株)樋口製作所	製品生産における生産性の改善
(株)ギフ加藤製作所	検査工程の目視検査の改善
(株)オング製作所	新商品の企画開発
(株)岐阜多田精機	加飾技術による射出成形品の高付加価値化
各務原航空機器(株)	製造効率向上を目指した作業支援システムの検討
(株)ハイビックス	金型等の段取り改善による生産性向上
(株)エヌテック	搬送装置の基礎と改善案の検討
徳田工業(株)	航空機部品加工時のびびり振動対策
(株)ナガセインテグレックス	機械の熱変形等の解析シミュレーション
ミズタニバルブ工業(株)	管理手法を見直すことによる生産工程の効率化

上記に加え、工学部の学生による短期集中型企業現場実習（イハラサイエンス(株)、美濃工業(株)）や応用生物科学部の学生による企業現場実習（(株)秋田屋本店、わかば農園(株)）を予定しています。

※産学金官連携人材育成・定着プロジェクト

県、産業界、大学、さらには金融機関が連携し、県内企業の高度技術者等の確保・育成及び定着を支援し、地域経済の活性化を図るため各種事業を展開。

産学金官連携人材育成・定着プロジェクト推進協議会（設立：平成27年9月）がプロジェクトを推進。2017年版ものづくり白書（経済産業省・厚生労働省・文部科学省）に、プロジェクトの取組みが紹介されました。

2017年度版ものづくり白書（192p 下段）

[http://www.meti.go.jp/report/whitepaper/mono/2017/honbun\\_pdf/pdf/honbun01\\_02\\_01.pdf](http://www.meti.go.jp/report/whitepaper/mono/2017/honbun_pdf/pdf/honbun01_02_01.pdf)

[産学金官連携人材育成・定着プロジェクト推進協議会事務局]

岐阜県 商工労働部 産業人材課 担当：森、森嶋、仙石

TEL：058-272-8406、FAX：058-278-2676

# 岐阜大学 全体図

